

お宝発見！びっくり仰天！

先生みーつけた？



寺田 健太郎

TERADA, Kentaro

宇宙地球科学専攻 教授

Character Point!!

学生時代の部活：剣道部

好きな食べ物：カレー

休日の過ごし方：アウトリーチ。それ以外は家族と過ごしています。

寺田研の研究紹介

寺田研は、太陽系の起源と進化の解明を目指す研究室です。現在は主に3つのテーマを扱っています。

- ①月のクレーターから解明される8億年前の小惑星シャワーについて
- ②太陽からの風によって地球の酸素が月まで届く現象の解明
- ③石の年代から分析される月の起源と、その装置開発

詳しくは「[寺田研ホームページ](#)」をご覧ください！



INTERVIEW

突撃！インタビュー

Q. 物理に魅了されたきっかけは？

高校時代までは全く理科に興味はなかったんです。最初のきっかけは高校時代に授業で「ケプラーの法則」を聞いた時でした。ケプラーの法則の第一法則で惑星が楕円軌道をするのを聞いて、「なぜ円じゃないのだろうか、宇宙は美しいから円だろ！」と高校生ながらに思いました。そこから調べていくうちに宇宙の美しさと不思議さに魅入られて研究者になっていました。

Q. 太陽系や宇宙の魅力を教えて！

何といっても偶然性と必然性がとても魅力的ですね。宇宙はいろいろな不変の法則が支配している反面、多くの偶然によって成り立っているんです。例えば、惑星や小惑星の軌道運動は基本的に普遍的で不変です。でも、偶発的に小惑星同士の衝突や惑星との衝突が起こることもあるんです。その偶然が、地球で生命が誕生するきっかけや恐竜の絶滅の原因となったりします。生命の誕生と進化という神秘的なことが偶然の出来事なのか、必然の出来事なのかを考えるととても興味深いと思いませんか！

Q. 学生時代の思い出は？

色々な人との交流が良い思い出です。私は大学時代に剣道部に所属していましたが、同年代の友人はもちろん10、20歳も上の大先輩と同じ道場で交流する機会もあり自分の価値観が広がりました。また、仲間と共に学び合うことで自分の引き出しも増え、自分の選択肢を増やすこともできました。よく遊び、良く学んだ悔いのない学生時代でした。

Q. 海外での研究生活について教えて！

フランスやオーストラリアなどでの研究ではいろいろな日本の違いを痛感しました。フランスでは長期休暇は当たり前ですし、オーストラリアでは子供が体調を崩したときに会社すると怒られるほどでした。海外での研究生活はそんな違いを見つけることで自分を固めるいい機会になりました。そして、海外での生活が心細い中、家族が自分を支えてくれました。海外での研究生活を通して、改めて家族の大切さに気付くことができました。

SCHEDULE

とある1日のスケジュール

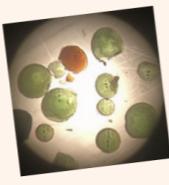
- 07:30 起床
- 08:45 大学到着
メール対応、新着論文チェック、セミナーなど
- 12:00 忙しくて大学でお昼を食べることはほとんどありません
- 13:00 メール対応、会議や講義、学生とのディスカッションなど
- 17:00 メール攻撃から解放され、自身の研究
- 20:00 大学を出る。夕食後、自身の研究
- 26:00 就寝

MY FAVORITE

先生ってどんな人？先生のお宝を調査！

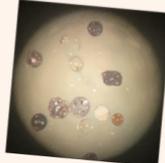


先生の力作！分析感度は世界一！
「超高感度極微量質量分析装置」



アポロ17号

アポロ15号



研究のためにゲット！
「アポロ計画の月の砂」



理科って面白い！先生の名著
「ねえねえはかせ、月のうさぎは何さいなの？」

MOVIE

インタビュー動画
YouTubeにて公開中！



編集後記

海外での経験から家族のことを大事にしているのが伝わり、優しい先生なのだなあと感じました。

教授というと研究のことばかり考えているイメージでしたが、理科の楽しさを伝える活動にも力を入れられているのは意外！

宇宙に関する丁寧な説明や、実際に月の砂を見せてくださり、とても学生思いの先生だと感じました。



理学部生物科学科 編集者 R.S.



理学部生物科学科 編集者 H.M.



理学部化学科 編集者 N.M.

Thank you for reading...

インタビュー日 2020.08.21